

環境王国「いわて」を担う
いわて第2クリーンセンター

環境活動レポート 2019

(2018年度実績報告)

対象期間 2018年4月1日~2019年3月31日



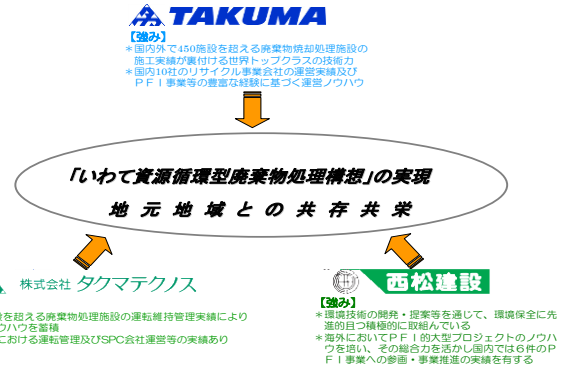
いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 松本 榮市

発行日 2019年6月30日

もくじ

- 1. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- 2. 事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 3. 施設概要と特徴・・・・・・・・・・・・ P3
- 4. 許可品目・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
- 5. 環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
- 6. 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
- 7. 役割と責任・権限・・・・・・・・・・・・ P7
- 8. 環境目標と活動実績・・・・・・・・・・・・ P8
- 9. 環境活動の結果と評価・・・・・・・・・・・・ P8
- 10. 代表者による全体の評価と見直し・・・・ P13
- 11. 環境保全活動・・・・・・・・・・・・ P14
- 12. 資格・免許・認定・・・・・・・・・・・・ P17

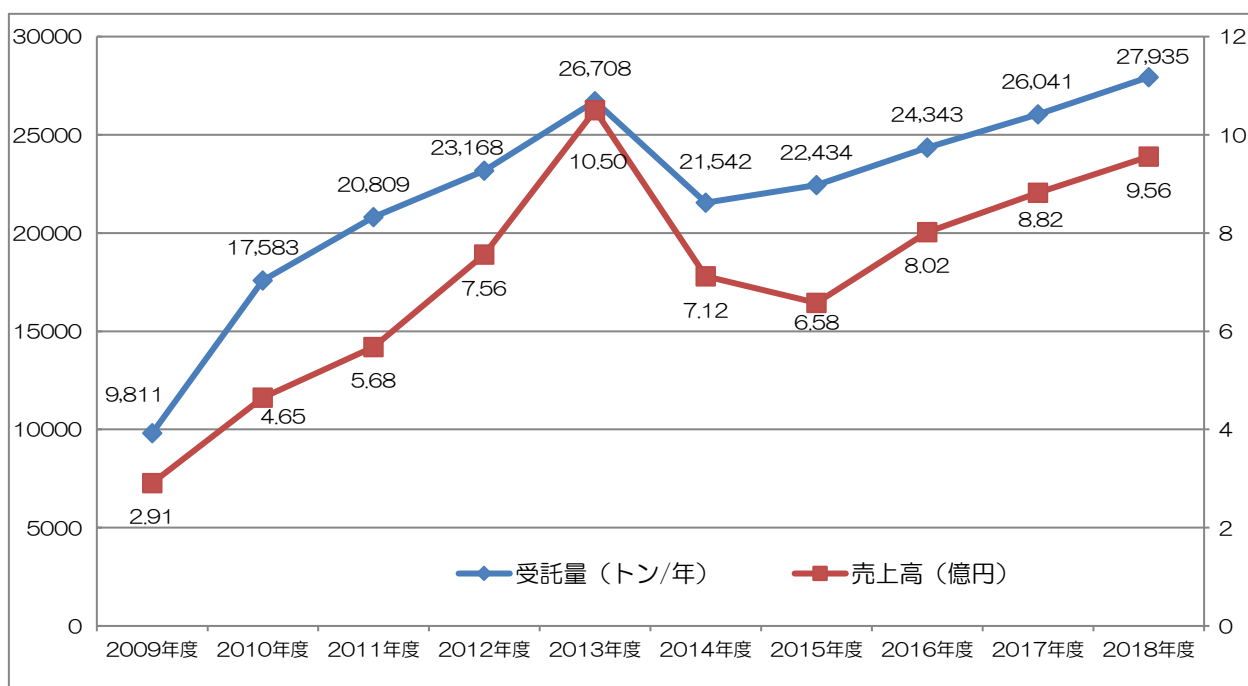


1. 会社概要

会社名 : いわて県北クリーン株式会社
 施設名 : いわて第2クリーンセンター
 所在地 : 〒 028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第 20 地割 48 番地 34
 代表者 : 代表取締役 松本 榮市
 業務開始 : 2009 年 4 月 (設立: 2006 年 4 月)
 資本金 : 9,000 万円
 株主 : 株式会社タクマ ・ 株式会社タクマテクノス ・ 西松建設株式会社
 事業内容 : 産業廃棄物の中間処理業 ・ 一般廃棄物の処理業 ・ 売電事業
 従業員数 : 35 名 (2018 年 4 月 1 日現在)
 事業面積 : 約 36,000 m²
 環境管理責任者 : 村田 英敏 ・ コミュニケーション窓口 : 村田 英敏
 TEL 0195-42-4085 FAX 0195-42-4550
 Mail info@iwate2cln.co.jp URL <http://www.iwate2cln.co.jp>

会社の沿革：

- 2006年 4月12日：株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス、西松建設株式会社の出資により設立
- 2007年 10月30日：環境大臣による廃棄物処理センター指定
- 2008年 3月29日：産業廃棄物処理施設の設置許可取得
- 2009年 1月 7日：産業廃棄物処理施設の処分業許可取得（許可番号：00329146787）
- 2009年 1月 7日：特別管理産業廃棄物処理施設の処分業許可取得（許可番号：00379146787）
- 2009年 4月 1日：事業開始
- 2009年 6月 8日：一般廃棄物処理施設の処分業許可取得
- 2009年 6月30日：基準適合産業廃棄物処理業者認定（中間処理★★取得）
- 2010年 2月15日：エコアクション21取得
- 2012年 8月30日：いわて地球環境にやさしい事業所認定 ★★★★★取得
- 2014年 7月23日：産業廃棄物処理施設設置許可取得（破碎中間処理施設 1 設置）
- 2014年 11月11日：産業廃棄物処分業の事業範囲の変更（破碎中間処理追加）
- 2015年 5月15日：産業廃棄物処理施設設置許可取得（破碎中間処理施設 2 設置）
- 2015年 5月28日：産業廃棄物処分業の事業範囲の変更（破碎中間処理追加）



2. 事業概要

本事業は、岩手県を発注者とするPFI事業で運営を行っています。岩手県の「自県内処理の推進」及び「資源循環型社会の形成」に基づき、多種多様な廃棄物を適正に処理するための「焼却設備」・「熔融設備」・「破碎設備」があり、あらゆる性状に対応が可能となっています。

処理施設は万全の環境保全対策が施された処理システムにより、安定的かつ安心な施設となっています。

3. 施設概要と特徴

施設名称 : いわて第2クリーンセンター
設置規模 : ロータリーキルン&ストーカ炉 87.9 t/日 ×1 基
燃料式表面溶融炉 13t/日 ×1 基
破碎施設 ×1 施設
ボイラ型式 : 三胴式廃熱ボイラ
最高使用圧力 : 3.30 MPa
常用使用圧力 : 2.90 MPa
蒸気温度 : 241℃
最大蒸発量 : 10.2 t/h
タービン形式 : 復水タービン
最大発電出力 : 840 kW



排ガス規制値

種類	法規制値	自主管理値
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1.0	0.1
SO _x (ppm 以下)	3,761 (K 値 17.5)	50 (K 値 0.25)
NO _x (ppm 以下)	250	100
塩化水素 (ppm 以下)	430	80
ばいじん (g/m ³ N 以下)	0.08	0.02

多種多様な廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の適正処理

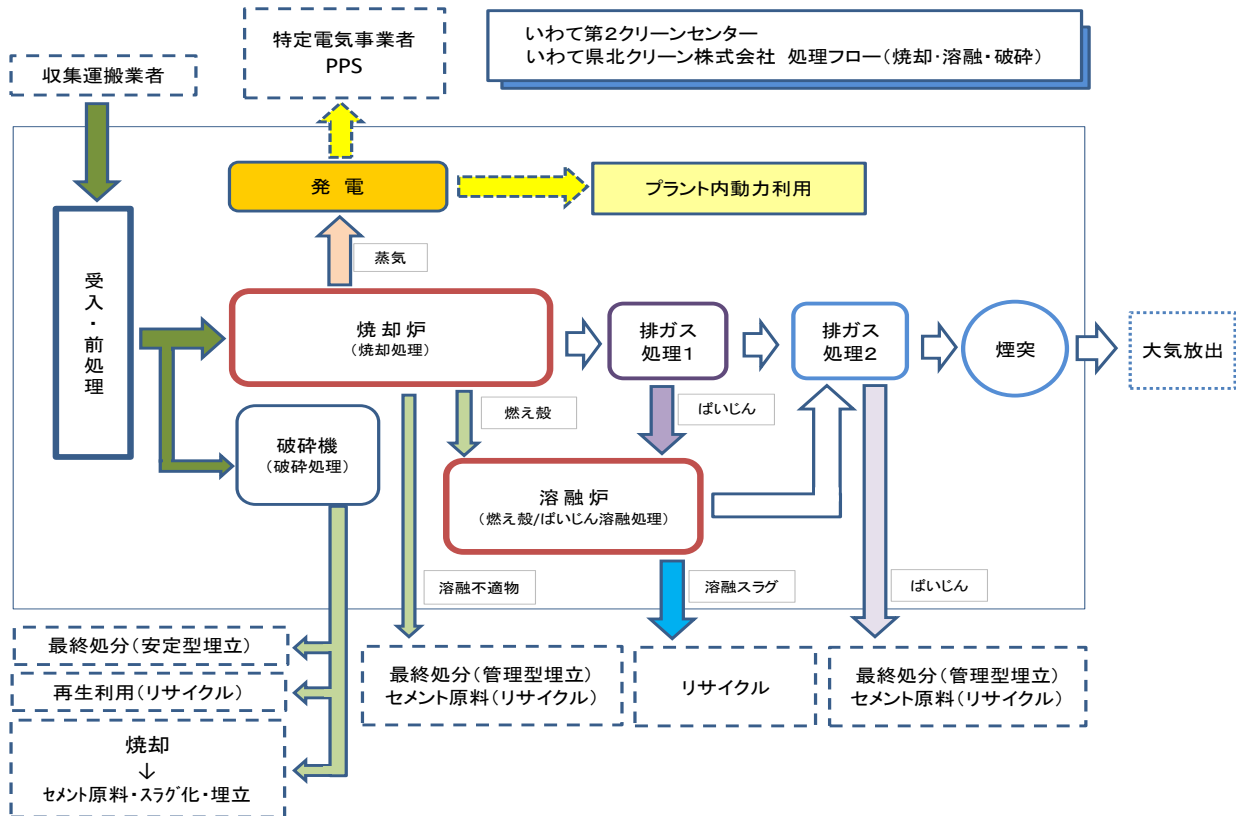
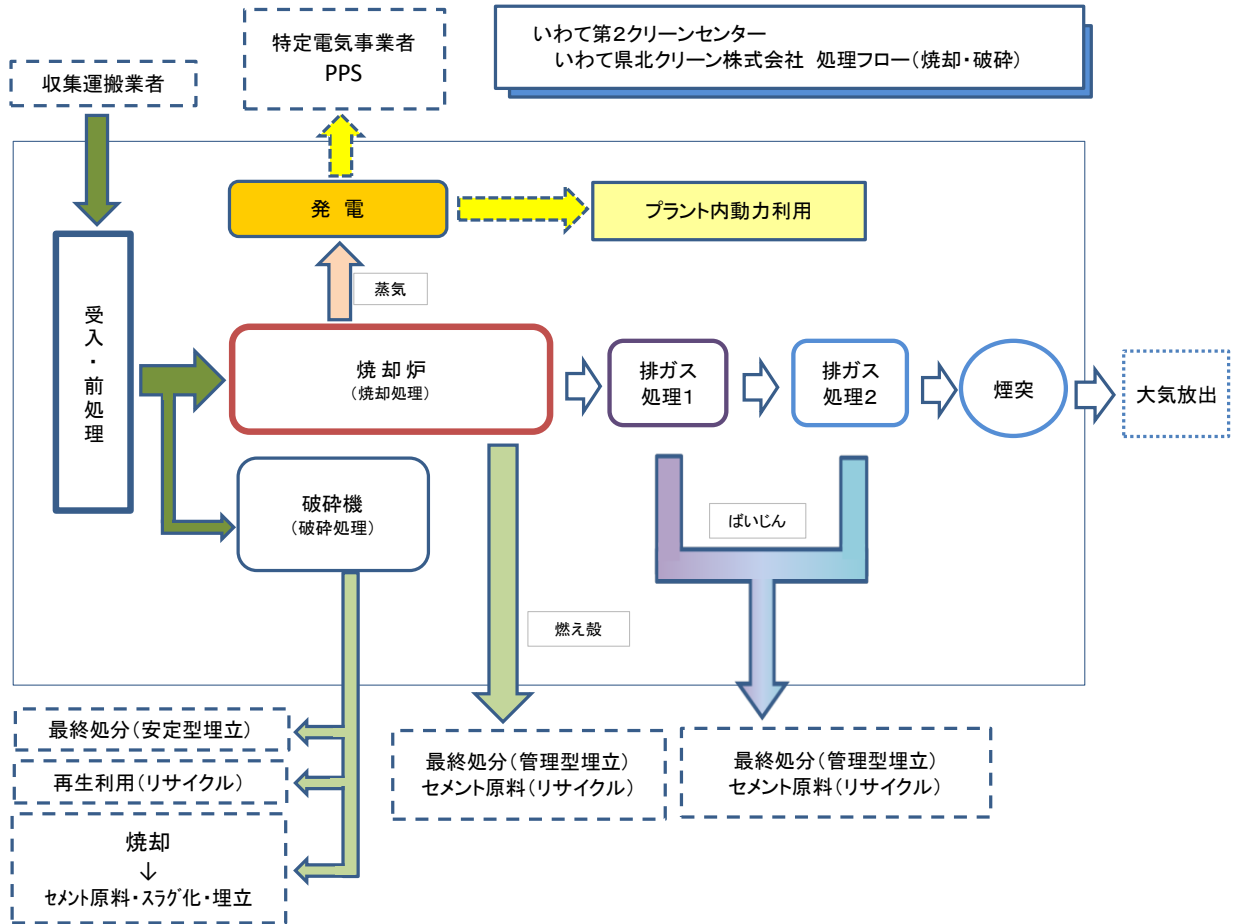
- ◎ 高温処理による完全燃焼と無害化
 - ・ 焼却炉内温度 850℃以上（自主管理値） ※法規制値 800℃以上
 - ・ 溶融炉内温度 1300℃以上

省エネ・資源リサイクルの促進

- ◎ 蒸気タービン発電機 最大 840 kW（発電設備） ※廃熱ボイラ蒸気利用
施設内で使用する電力の全量供給及び余剰電力の売電

周辺環境への配慮

- ◎ 排ガスは環境にやさしい管理値を設け、地域環境保全に配慮
- ◎ クローズドシステムによりプラント排水及び生活排水は施設内において再利用し、場外へは無放流
- ◎ 騒音・振動の発生を抑制した設備の導入及び防音材設置や振動対策床基礎の導入
- ◎ 臭気を外部に放出させない換気システム



4. 許可品目

焼却施設

○産業廃棄物

- ① 燃え殻
- ② 汚泥
- ③ 廃油
- ④ 廃酸
- ⑤ 廃アルカリ
- ⑥ 廃プラスチック類
- ⑦ 紙くず
- ⑧ 木くず
- ⑨ 繊維くず
- ⑩ 動植物性残さ
- ⑪ 動物系固形不要物
- ⑫ ゴムくず
- ⑬ 金属くず（他の性状と一体となり分別できないものに限る。）
- ⑭ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（医療系廃棄物に限る。）
- ⑮ 動物のふん尿

○特別管理産業廃棄物

- ① 廃油
- ② 廃酸
- ③ 廃アルカリ
- ④ 感染性産業廃棄物
- ⑤ 燃え殻
- ⑥ 汚泥

熔融施設

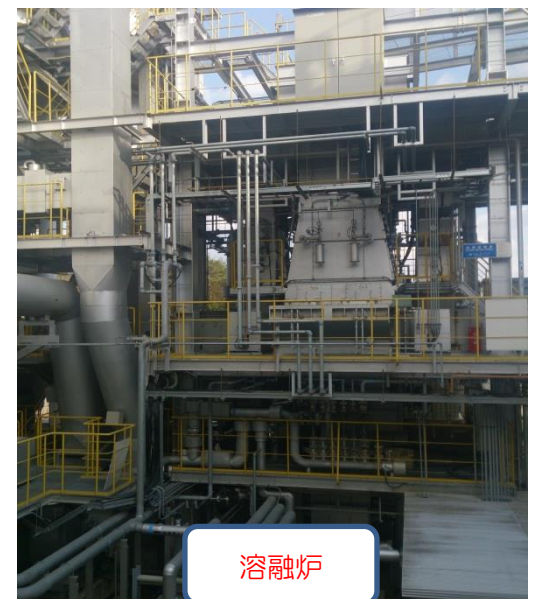
○産業廃棄物 ① 廃プラスチック類 ② 汚泥

○特別管理産業廃棄物 ① 汚泥

破碎施設

○産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類
- ② 紙くず
- ③ 木くず
- ④ 繊維くず
- ⑤ ゴムくず
- ⑥ 金属くず
- ⑦ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑧ がれき類



環境方針

《基本理念》

いわて県北クリーン株式会社は、積極的に熱利用を行い、廃棄物の未利用エネルギーを効率的に利用することで CO₂ を削減し、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。そのためにエコアクション 21 のシステムを導入し環境活動を展開します。

《行動指針》

1. 環境にやさしい事業運営に努めると共に、地域社会に貢献する企業をめざし活動に取り組みます。
2. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素の排出量削減に努めます。
 - (2) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
 - (3) 使用する水の抑制に努めます。
 - (4) グリーン購入の推進に努めます。
 - (5) 化学物質の削減に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を深め、積極的に取り組みます。

制定：平成 22 年 5 月 1 日

改定：平成 27 年 6 月 9 日

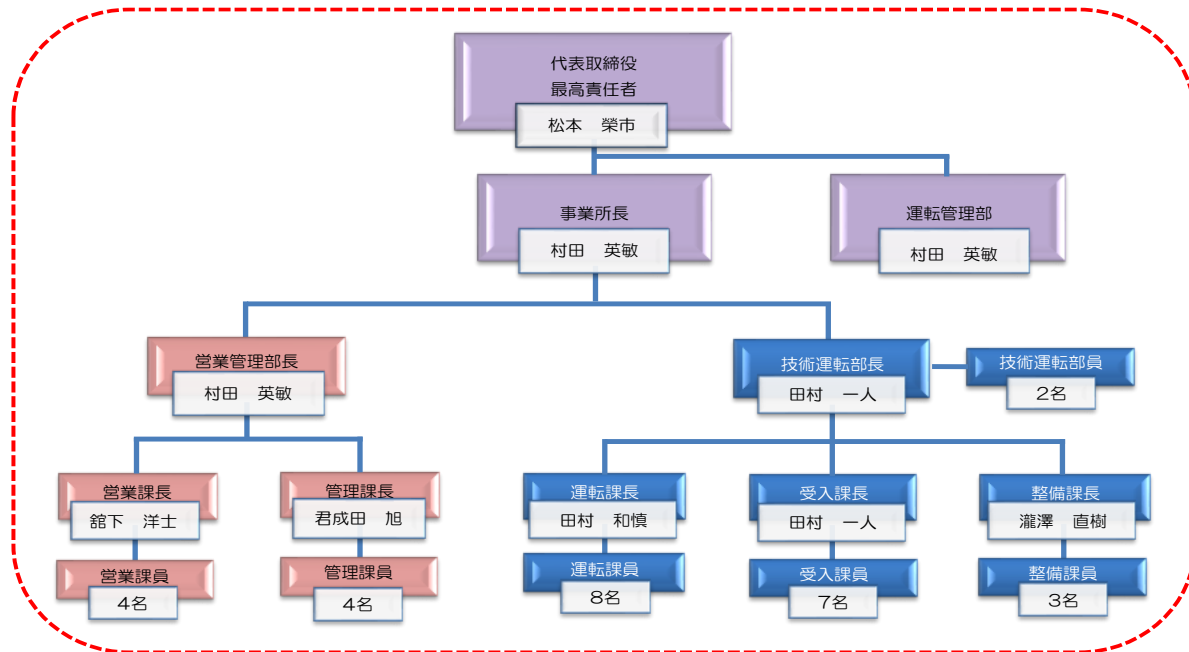
いわて第 2 クリーンセンター

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 松本 栄市



6. 組織図 (2019年4月1日現在)



EA21 取組範囲

7. 役割と責任・権限

役割	担当者	役割と責任・権限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者の任命 ②環境管理責任者から報告を受けて全体の見直し ③取組に対する資源を用意 ④環境方針を作成する
環境管理責任者	事業所長	①代表者に代わって環境管理システムを構築し運営 ②関連法規の把握をして代表者に情報を報告 ③必要な教育訓練を計画し実施
E A21 事務局	技術運転部	①環境管理責任者に代わってデータ収集 ②各部署へE A21 の目標数値を周知 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者へ報告
防災責任者（防火管理者）		①防災計画の立案 ②火元責任者の選任
安全運転管理者	事業所長	①安全運転のために必要な教育・訓練の実施 ②エコドライブの積極的な推進
各部門長	営業管理部長 技術運転部長	①取組み項目の把握及び実施状況の確認 ②各部署へ取組み項目の達成状況を周知 ③必要に応じて各取組み項目の是正及びその指示 ④環境配慮・緊急事態に関する予防措置
社員	全社員	①取組み項目に対して積極的に実施 ②環境保全活動への積極的な参加

8. 環境目標と活動実績

各年度目標値に対する達成度

■ 目標達成 ■ 目標未達
※達成判定は90%以上とする

	単位	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1 受電電力量の削減	kWh/t	165	81.6	61.3	23.3	9.1	5.9	4.3	0.0	0.0	0.0
2 重油使用量の削減	L/t	16.8	4.0	3.1	1.2	0.95	1.07	0.55	2.10	1.61	0.89
3 軽油使用量の削減	L/t	1.7	1.74	1.77	1.85	1.97	2.30	2.26	2.57	2.37	2.37
4 カソリン使用量の削減	L/t		—	—	0.43	0.36	0.36	0.33	0.39	0.35	0.32
5 上水使用量の削減	m ³ /t	0.85	0.83	0.63	0.75	0.63	0.57	0.72	0.51	0.5	0.48
6 温室効果ガスの削減	kg-CO ₂ /t	113	57.4	44.0	20.3	13.5	13.0	10.5	12.2	13.3	12.8
7 発電電力量の増加	kWh/t	189	157.1	119.2	152.0	164.4	209.6	217.4	240.6	219.8	222.9
8 廃棄物受託量の増加	t/年	9,811	17,583	20,809	23,168	26,708	21,542	22,434	24,343	26,041	27,935
9 消石灰使用量の削減	kg/t	32.9	35.9	27.0	25.5	27.8	25.6	29.4	29.4	23.2	16.1
10 グリーン購入率の増加	%/年		—	—	73.1	63.3	71.5	86.0	86.0	100.0	100.0

9. 環境活動の結果と評価

「受電電力量の削減」

2018年度 目標 0.0kWh/t

2018年度 実績 0.0kWh/t

達成率 100.0%

取組内容

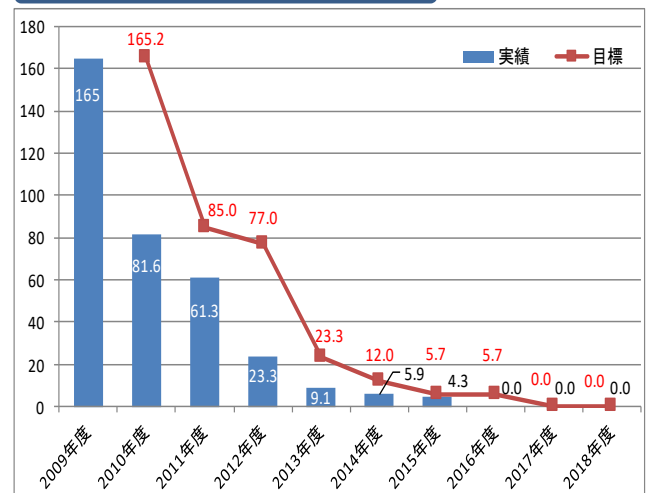
安定的な発電により受電電力を削減できるように投入ゴミの熱量を均一化する。

活動結果と評価

投入ゴミの均一化と燃焼管理で安定した発電ができた。

*2016年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.000553 (t-CO₂/kWh)

受電電力量の削減 (kWh/t)



<2019年度 目標 0.0kWh/t>

取組内容

安定的な発電により受電電力を削減できるように投入ゴミの熱量を均一化する。

「 重油使用量の削減 」

2018年度 目標 0.80L/t

2018年度 実績 0.89L/t

達成率 89.7%

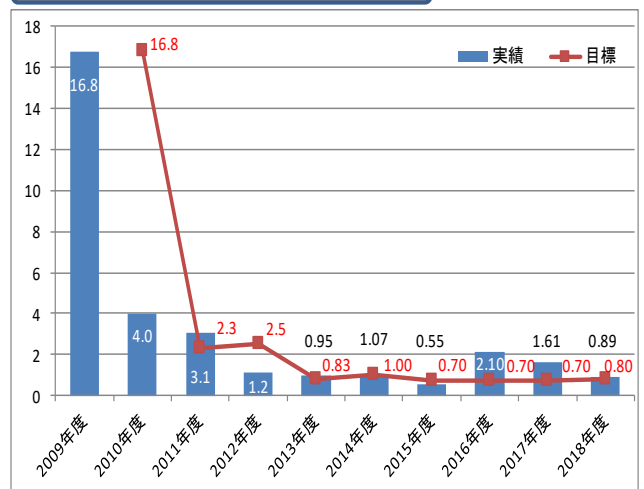
取組内容

炉内温度低下時は廃油を有効的に処理することで、助燃用の重油使用量を削減する。

活動結果と評価

設備の不具合により、緊急的な焼却炉の立上げや炉温低下時に助燃として廃油が無かったことがあり、達成することが出来なかった。

重油使用量の削減 (L/t)



<2019年度 目標 0.77L/t>

取組内容

炉内温度低下時は廃油を有効的に処理することで、助燃用の重油使用量を削減する。

「 軽油使用量の削減 」

2018年度 目標 2.35L/t

2018年度 実績 2.37L/t

達成率 99.1%

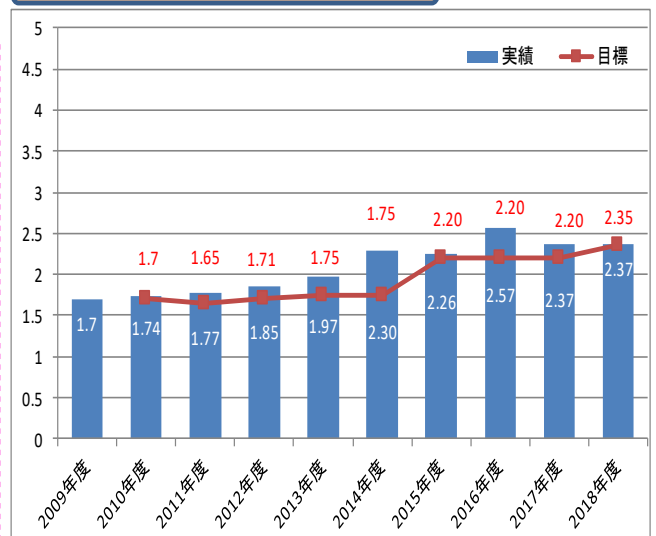
取組内容

- 作業効率を上げて重機使用時間を短縮する。
- 小まめな点検清掃で重機を適正に保ち燃費を向上させる。

活動結果と評価

作業効率を上げ、使用する時間を減らし、こまめな点検をし、重機を適正に保った。

軽油使用量の削減 (L/t)



<2019年度 目標 2.33L/t>

取組内容

- 作業効率を上げて重機の使用時間を短縮する。
- 小まめな点検清掃で重機を適正に保ち燃費を向上させる。

「 ガソリン使用量の削減 」

2018年度 目標 0.34L/t

2018年度 実績 0.32L/t

達成率 107.0%

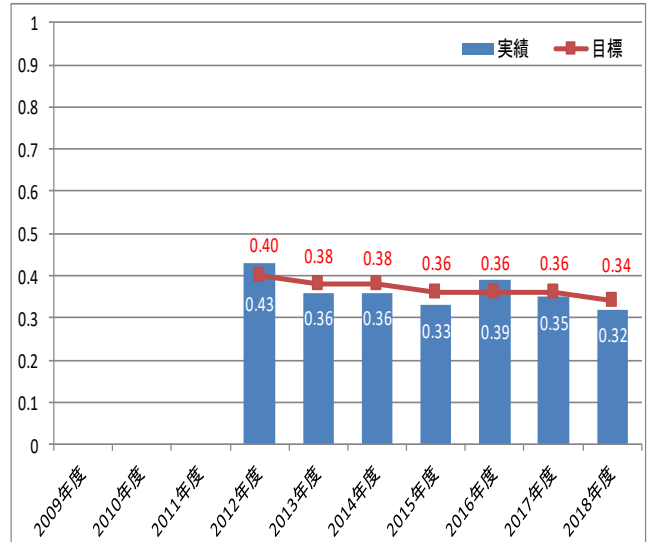
取組内容

計画的な運行計画により、無理な運転を避けてエコドライブ運転に努める。

活動結果と評価

計画的な運行計画、エコドライブを意識し実践することができた。

ガソリン使用量の削減 (L/t)



<2019年度 目標 0.33L/t >

取組内容

計画的な運行計画により、無理な運転を避けてエコドライブ運転に努める。

「 上水使用量の削減 」

2018年度 目標 0.50 m³/t

2018年度 実績 0.48 m³/t

達成率 104.8%

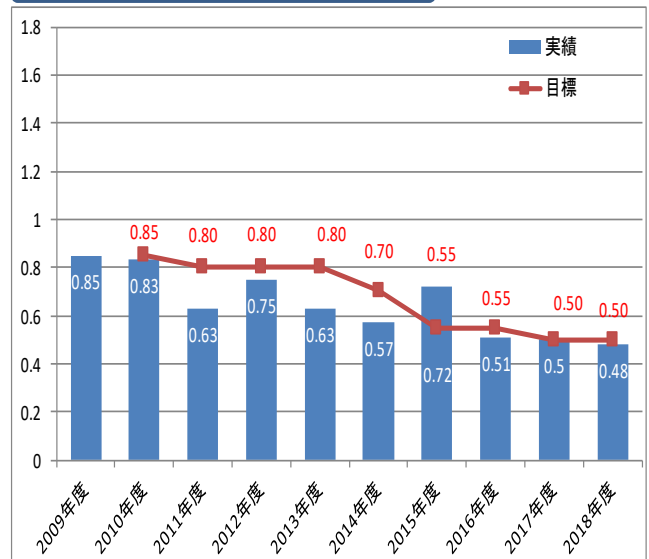
取組内容

調整池水の利用継続と水槽レベル監視強化。

活動結果と評価

プラント清掃に使用する水も雨水を利用したことも大きく影響した。

上水使用量の削減 (m³/t)



<2019年度 目標 0.50 m³/t >

取組内容

調整池水の利用継続と水槽レベル監視強化。

「 温室効果ガスの削減 」

2018年度 目標 13.0kg-CO₂/t
 2018年度 実績 12.8kg-CO₂/t
 達成率 101.4%

取組内容

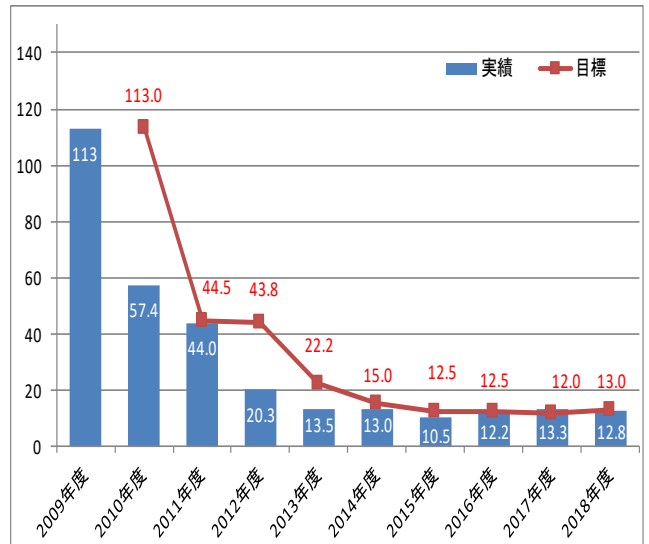
重油や軽油使用量の削減と、受電電力量の削減。

活動結果と評価

不具合による緊急的な立下げも無く、連続稼働ができた。

*2016年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.000553 (t-CO₂/kWh)

温室効果ガスの削減 (kg-CO₂/t)



<2019年度 目標 12.8kg-CO₂/t >

取組内容

重油や軽油使用量の削減と受電電力量の削減。

「 発電電力量の増加 」

2018年度 目標 220.0kWh/t
 2018年度 実績 222.9kWh/t
 達成率 101.3%

取組内容

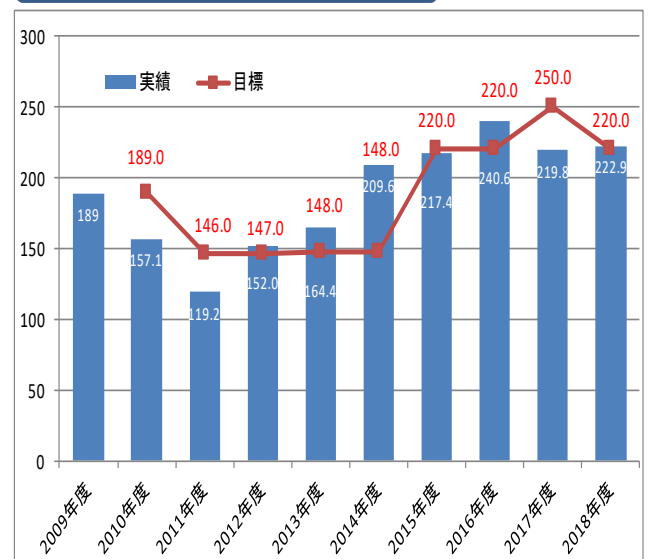
廃棄物の性状を均一化させるためのゴミ攪拌を定期的に行う

活動結果と評価

廃棄物の均一化と燃焼管理で安定した発電ができた。

*二酸化炭素排出係数：0 (t-CO₂/kWh)

発電電力量の増加 (kWh/t)



<2019年度 目標 225.0kWh/t >

取組内容

廃棄物の性状を均一化させるためのゴミ攪拌を定期的に行う。

「 廃棄物受託量の増加 」

2018年度 目標 29,500 t/年

2018年度 実績 27,935 t/年

達成率 94.7%

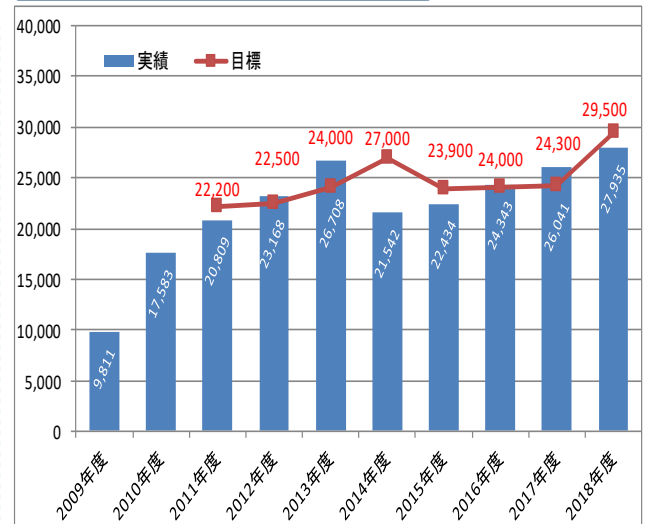
取組内容

継続的な顧客営業と新規顧客獲得へ注力する。

活動結果と評価

情報収集に注力できた。

廃棄物受託量の増加 (t/年)



<2019年度 目標 29,500 t/年>

取組内容

継続的な顧客営業と新規顧客獲得へ注力する。

「消石灰使用量の削減」

2018年度 目標 23.2 kg/t

2018年度 実績 16.1 kg/t

達成率 144.0%

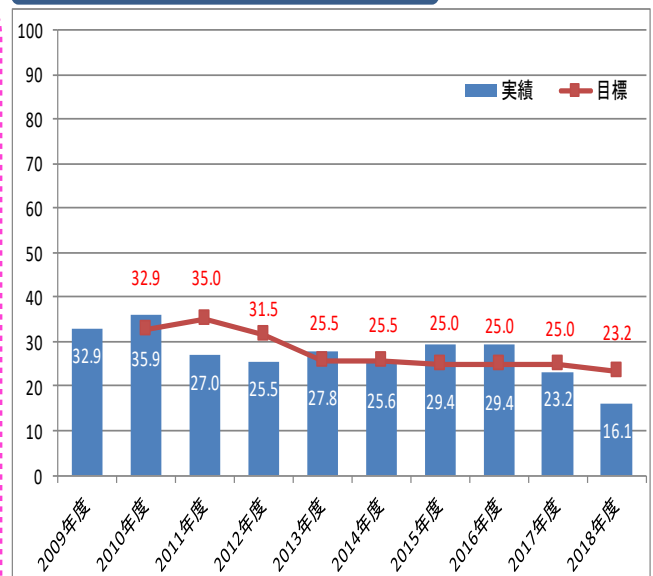
取組内容

消石灰設定値の小さな変更により更なる削減を行う。

活動結果と評価

消石灰の設定値の変更や吹込み量を手動で操作することで削減することができた。

消石灰使用量の削減 (kg/t)



<2019年度 目標 23.1 kg/t>

取組内容

消石灰設定値の小さな変更により更なる削減を行う。

「グリーン購入率の増加」

2018年度 目標 100.0%/年

2018年度 実績 100.0%/年

達成率 100.0%

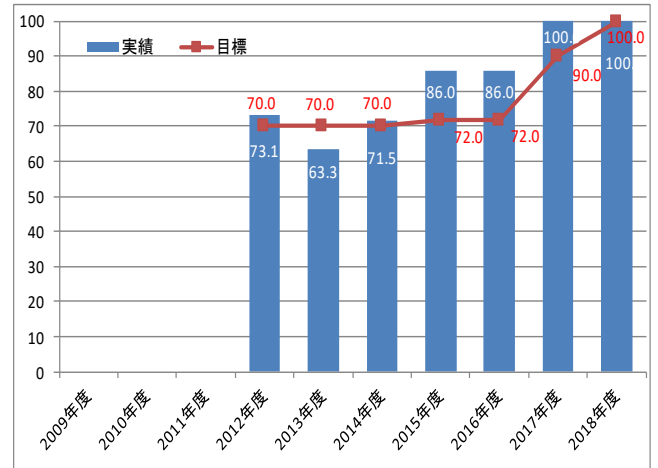
取組内容

グリーン商品とエコリサイクル商品を積極的に購入する。

活動結果と評価

すべてグリーン商品を購入した。

グリーン購入率の増加（%/年）



<2019年度 目標 100.0%/年>

取組内容

グリーン商品とエコリサイクル商品を積極的に購入する。

10. 代表者による全体の評価と見直し

1. 結果に対する評価

平成 30 年度は A 重油の削減の項目のみが未達となったが、活動内容については良く実施してくれたと判断する。特に消石灰の削減は素晴らしい結果であり、また、全体的に微増ではあるが達成率が増加しているのは大変良い結果であるとする。

2. 全体の見直し

目標達成した項目は目標設定値が適当であったと考える。ただし、A 重油の削減は焼却炉燃焼に寄与しない部分での使用量もカウントされるため、目標設定を検討する必要があると考える。

3. 次期取組みへの指示

各項目の結果から見ると、実施内容に大きな是正に必要性は無いと思う。今後も現在の取り組みを継続しつつ、新たな削減施策を検討すること。

11. 環境保全活動

イベント関係

実施日	実施項目	実施内容
4月14日	クリーン九戸行動日	九戸村沿道のゴミ拾い活動
6月2日	草刈り作業	施設内のほか、周辺の草刈り作業
9月2日	九戸村民スポーツ・レクリエーション大会	パークゴルフの部参加
10月27・28日	九戸村産業・芸術文化まつり	産業部門出展

セミナー・講習会

実施日	実施項目	実施内容
4月27日	救急救命講習	心肺蘇生法・AED使用方法
7月11・12日	産業廃棄物処理実務者研修会	産業廃棄物処理についての基礎コース
7月19・20日	ボイラ・タービン主任者会議	ボイラ・タービンの管理者会議
9月7日	危険物取扱者保安講習	乙4類危険物に関する3年毎の定期講習
10月4・5日	産業廃棄物処理従事者能力アップセミナー 営業コース	廃棄物処理について法的な説明、顧客への 的確な提案を行う能力の養成
10月30・31日	産業廃棄物処理優良事業者育成研修会	改正廃棄物処理法に基づく適正処理について
12月18日	2018年度環境報告書作成研修会	環境報告書作成の目的や作成方法について

教育・訓練

実施日	実施項目	実施内容
4月27日	健康教育	九戸村保健衛生班の保健師による健康教育
8月28・29日	地震訓練	地震による炉停止を想定した訓練
11月7日	避難訓練・消火訓練	二戸消防署九戸分署による訓練指導
2月11日	拡散防止訓練	廃棄物の漏洩を想定した訓練

クリーン九戸行動日

4月14日に行われた「クリーン九戸行動日」に、当社から14名が参加しました。沿道のゴミ拾いをしていると、予想以上にゴミが多く大変驚きました。そして、マナーの悪い人も多いのだと実感しました。これからも参加させていただき、きれいな地域になるよう貢献していきたいと思いました。



環境整備活動

9月26日、九戸インター～道の駅おりつめ周辺～当社までの区間のゴミ拾いをしました。普段利用している道で、車から見ると沿道は綺麗に見えていましたが、いざ九戸インター入り口から歩くと、たばこの吸い殻や空き缶などがありとても驚きました。道の駅周辺なのにゴミ箱に捨てることのできないマナーの悪い人もいるのだと残念に思いました。



環境報告会（事業報告会）

8月23日に平成30年度環境報告会を開催し、各協会団体様、環境関連企業様、岩手県様、九戸村様等々、沢山の方にお越しいただき、日頃の事業内容や環境活動を報告させていただきました。また、工場見学では多くの質疑等があり、当社の事業内容を知っていただく良い報告会となりました。

開業から10年目を迎え「環境負荷低減・環境活動」を積極的に行い、企業として環境保全の大切さを常に意識し、地元の皆様から安心・信頼をいただける会社を目指して日々取り組んでまいります。



平成30年度 避難訓練

11月7日寒空のもと、二戸消防署九戸分署様の立合いで避難訓練を行いました。昨年増設した廃棄物の保管ヤードから出火したという想定で、初期消火訓練を始め通報訓練、社内放送や来客者の避難誘導の訓練も併せて行いました。避難後は、水消火器を使用して新入社員を中心に消火訓練を行い、消火器の使用方法について指導を受けました。不測の事態に備え役割分担をすることで、被害を出さないよう気を付けていきたいと思えます。



九戸村産業・芸術文化まつり

10月27～28日に開催された「九戸村産業芸術文化まつり」に7度目の出展をさせていただきました。昨年に続き、焼却炉の模型やDVD映像での事業内容説明、環境クイズの出題、豪華景品が当たるくじ引き大会を行いました。今年は新たに自転車を漕いで自家発電を体験できるコーナーを増やし、子供達がチャレンジしてくれました。おかげ様で2日間とも大盛況のうちに終わることができました。今後も地域の皆様に寄り添っていけるよう努めて参りますので、宜しくお願いいたします。



12. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
E	エコスタッフ講習	2名
C	環境社会検定試験（ECO検定）	2名
O	エコドライブ講習	1名
管 理 士	産業廃棄物処理施設技術管理士	2名
	一般廃棄物処理施設技術管理士	2名
	破砕・リサイクル施設技術管理士	1名
廃 棄 物	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	3名
	特別管理産業廃棄物処理業に関する講習（処分業課程）	1名
	特別管理産業廃棄物処分業に関する講習（収集・運搬業課程）	1名
	産業廃棄物処理実務者研修会基礎コース	13名
	産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）	1名
車 両 ・ 整 備	第一種普通自動車免許	36名
	第一種大型自動車免許	3名
	大型特殊自動車免許	4名
	ガソリン自動車整備士3級	1名
	ディーゼル自動車整備士3級	1名
	シャシ整備士3級	1名
ボ イ ラ	第2種ボイラ・タービン主任技術者	1名
	1級ボイラ技士	10名
	ボイラ整備士	1名
	ボイラ取扱従事者安全衛生教育	1名
電 気	第二種電気工事士	2名
	低圧電気取扱者教育	1名

12. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
危 険 物	甲種防火管理者	1名
	乙種第4類危険物取扱者	14名
	丙種危険物取扱者	4名
技 能 講 習 ・ ク レ ーン	高所作業車運転技能講習	2名
	車両系建設機械（整地等）	21名
	車両系建設機械（解体）※特例講習含む	19名
	フォークリフト技能講習	26名
	玉掛け技能講習	9名
	ガス溶接技能講習	21名
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	12名
	有機溶剤作業主任者技能講習	4名
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	3名
	小型移動式クレーン運転技能講習	2名
	床上操作式クレーン運転技能講習	2名
	クレーン運転業務特別教育	20名
	特 別 教 育	ダイオキシン類ばく露防止特別教育
ダイオキシン類特別教育		27名
安全衛生推進者養成講習		3名
アーク溶接特別教育		13名
粉じん作業特別教育		1名
チェーンソー伐木業務特別教育		1名
普通救急救命講習		34名
自由研削用といし作業特別教育		3名
刈払い機作業安全衛生教育		2名
高所作業車運転技能講習特例講習		2名
第2種酸素欠乏等危険作業特別教育	1名	

【所在地案内図】



いわて県北クリーン株式会社
(Iwate-Kenpoku Clean Co.,Ltd.)